

京都税理士協同組合ニュース

KYOZEIKYO

平成20年1月25日

第120号



がんばれ！（駅伝応援風景）

編集委員 小林由香

発行所

京都税理士協同組合

発行人 廣瀬 伸彦
編集人 有田 行雄

〒604-0943
京都市中京区麩屋町通御池上ル
上白山町258-2
TEL (075) 222-2311
E-mail kyozei@kyozei.or.jp

最新情報はこちら
<http://www.kyozei.or.jp>

年 頭 所 感



理 事 長
廣 瀬 伸 彦

新しい年の始まりにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

昨年来からの「サブプライム」「住宅着工減」「原油、原材料高」「円高」といった懸念される問題を大きく抱えた日本経済が大変に厳しい年を迎えます。私達税理士事務所が関与する中小企業にとって特に厳しいとき、我が税理士協同組合は、税理士の相互扶助の力を強力に推し進め、組合員税理士が経営する事務所の繁栄に寄与することが出来る施策に力を傾注していかねばなりません。

組合の主たる業務である保険部門においては、組織の変更によって第一委員会と第二委員会に分割し、第一委員会は大同生命保険会社の担当を行い、第二委員会は全税共傘下の各生損保険会社を担当するとともに、その他のことについて専任して行うことにいたしました。今までの保険部門で全ての保険事業を担当することは、大局が掴めても大雑把となり成果を出すことが出

来ずに終わっていた状況がありました。保険第一委員会については、大同生命保険契約保有高3,000億円は永年にわたる組合員の成果であり、これを基に新規契約の積み重ねとともに、代理店数の増加をお願いし、一段の努力をして参ります。保険第二委員会は、全税共への取り組みに各生損保険会社との連携を密にし、銀行等による保険販売の全面解禁による販売チャンネルの多様化が進む中、組合員税理士のクライアントの企業防衛、リスク管理の観点からの保険指導は一段と重要性を増して参ります。こうした時こそ、税理士協同組合による適切、適切なアドバイス的重要性が増して参ります。保険部門の一段の成果を期待し、組合員皆様のご協力をお願い申し上げます。

事業部門における事業は、新しい常務理事（委員長）による新しい視点から提携企業の見直しや、新しい企業との提携など、これからの厳しい時代に対応する施策を行って参ります。

税務便覧制作については、ご利用頂く皆様のニーズに合った、より便利でハンディーなものとして喜んで使っていただけるものを提供し、販売方法についても考え、息の長い便覧制作を図ります。

学院運営については、組合員の業務に効果的な研修計画を立案し、各講座の充実に努力いたします。

総務部門では、定款を始め、事務文書の見直しや、組合員が組合に親しみを持っていただけ京税協ニュースの編集、組合員相互の親睦を図るゴルフ大会や一泊旅行の計画をして参ります。

新しい年は厳しい年であるかと思いますが、これらの情勢のもと、持続的な成長と収益の拡大に引き続き取り組む所存でありますので、組合員皆様の格別なご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いし、新年のごあいさつといたします。

俳句

老の春

飯盒の蓋に恩賜の年酒受く
葉牡丹や軒の国旗は老の意地
べつたらや父子相伝の下戸にして
初髪の一と待つテラス中二階
お互いにまだら呆けっこ老の春

上京支所

有田徳五郎
(蟻太)

税理士協同組合の 報酬自動支払制度

税理士とその関係者のために
NICHIZEI GROUP

集金の手間が
省けます。

モいなく入金!

〇〇銀行

未収金の防止に
役立ちます。

報酬をまとめて
先生の口座に振込

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.nichizei.com/nbs/hs/>

税理士報酬専門の口座振替による自動集金システム。
全国13,500の税理士事務所でご利用中!

税理士協同組合事務代 株式会社 日税ビジネスサービス 0120-155-551

〒163-1588 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー29階

第1回 日本生命税理士VIP代理店推進協議会開催される

第1回日本生命税理士VIP代理店推進協議会が、11月19日京都税理士会館3階京税協ホールにおいて開催された。

この協議会は、当組合の運営を支える保険事務手数料収入のうち、大同生命以外の部分（全税共他）の増強を図るために立ち上げられたもので、今回はその記念すべき第1回となった。（全税共の組織については、京税協ニュースの前号〈119号〉で植田順保険第二委員長が詳しい説明を行っている）全税共と提携する生保各社にあって日本生命の占める割合は格段に大きく、日本生命税理士VIP代理店制度の推進が今後の保険事務手数料収入の増加に寄与すると考えられる。

会議は、植田順委員長の司会で行われ、まず、廣瀬伸彦理事長が挨拶を行い、次いで、石村博日本生命執行役員代理店営業本部長が挨拶を行った。

このあと、大西恭則日本生命代理店業務部専門部長が「事業承継元年、コンサルティング手法を考える」とのタイトルのセミナーを行った。

セミナーでは、「事業承継問題への5つの切り口」ということで、①後継者問題②持分問題③納税問題④分割問題⑤退職金問題に分けて事業承継を考えた。

セミナーの後、平澤政治副理事長が「税理士VIP代理店の推進」のために協議会を立ち上げた経緯、代理店登録の推進のお願いを行い、石山佳史日本生命近畿代理店第一部部長が、日本生命の商品及び代理店報酬の優位性を述べた。

終了後、会場を京都ホテルオークラ

17階「アポロの間」に移し、船越善博保険第二副委員長の司会で、懇親会が開かれた。

井上玲子副理事長の挨拶の後、櫻井浩志日本生命京都代理店営業部長が軽妙な話術で7名のスタッフを紹介し、大江和男日本生命代理店開発推進部長の乾杯の発声で開宴となった。組合側と日本生命側の参加者との懇親が深まる中、最後に吉澤俊二副理事長が閉宴挨拶を行い、和やかなうちに終了した。

（編集委員 有田行雄）



日本生命税理士VIP代理店推進協議会に参加して

▶▶▶ 下京支所 山崎恒樹



それは京税協の植田順常務理事の大きな声で始まりました。本日、自分がこの場にいることについて場違い、勘違い、人違い、筋違いの感は否めませんが、平成19年11月19日に開催された日本生命とのセミナー、懇親会には50人近くの組合員が参加しました。

セミナーでは、生命保険を利用した様々な事案が紹介されました。30年後に解約予定の定期保険を紹介されても、＜30年間保険料を払い続けることが出来る会社の存続率＞×＜30年後に私の

顧問先である確率＞×＜私の生存率＞＝？%、なかなか難しいスキームで、実行に躊躇します。

また、京税協の収入依存度が偏らないよう、大同生命だけでなく日本生命との提携を強化しなければならないとの趣旨で、京税協と日本生命から説明がありました。京税協の収入確保のために尽力されている役員の方々のことを考えると、普段から保険に対して積極的でない私にとっては、居心地の悪い時間帯でした。

第2部の懇親会では、日本生命の皆様の饒舌な話術と美味しい食事と綺麗な夜景を堪能し、日本生命との一日が終了です。

最後に、有田編集委員長の強面が頭をよぎりましたので、京税協と日本生命との提携の重要性がおぼろげながら認識することが出来ました、という優等生的な感想で今回の報告を終了いたします。

テーマ「これからの日本の政治と経済」

新春講演会

平成二十年一月十一日 於京都ホテルオークラ

講師 高野 孟先生 (フリージャーナリスト)

1. 昨今の政治情勢

昨年は「偽」の年であった。食品の偽装表示、年金記録や政治家の事務所費の偽りなどにみられるように、企業、役所、政治の倫理欠如は著しい。政治は福田首相になって、給油新法（新テロ対策特措法）が再可決成立しインド洋での給油が再開される。しかし、日本にとってのテロ対策、インド洋での給油の意味など基本的な事柄についての論議はみられず、政治の空洞化国会であった。

テロの阻止が目的であれば、海上よりも「陸上（中央道路）の阻止」が効果的だ。世界のアヘンの93%を製造しているアフガニスタンからの出口ルートを抑えることである。これには、10万人の兵士が必要であり、各国の緊密な連絡が必要だ。結局は本気でやる気がない証拠であると思う。給油再開は、日本がアメリカを支援しているという軍事的なデモンストレーションにすぎない。1月10日の毎日新聞に、「日米同盟という言葉がメディアや政府で多用されているのは日本社会のトレンドだ。その持つ意味を自分で考えないでただ日米同盟というのは処世術・自己催眠のたぐいだ」と書いてあった。給油新法が再可決成立したが、日本としてアフガニスタン情勢にどう対応するのか、熱い問題意識をもって論議すべきだが、自民党も民主党にもその熱意を感じることはできない。

政治はゆるんでいる。1月9日の福田首相と小沢代表との党首討論でも真

剣な議論が少ない。国会のねじれ現象からか、「よろず、ことをおだやかに、ひたすら、頭を低くして前へ」の姿勢が政治をゆるんだものになっている。予算は通過しても、予算関連法案を成立させることはむずかしい。法案すべてを伝家の宝刀である「3分の2」を使って成立することはできないだろう。このような状況から、解散総選挙はいつあってもおかしくない。選挙は「小選挙区制」（1選挙区で1人を選出する制度で、政党の得票率と議席率が大きく懸け離れるのが特徴）で行われるから、結果はどうなるかわからない。

2. ドルの凋落と国際経済の変動

正月の新聞の中で注目した記事は、日本経済新聞の「YEN漂流」シリーズ、沈む国と通貨の物語である。弱い円、それと対照的に、ユーロ、ルーブル、人民元、韓国ウォンの地位が高まっている。ドルの凋落が目につく、アメリカは全世界から信用されなくなっている。アメリカ大統領選挙が始まった。民主党はオバマ、クリントン、誰がなっても、アメリカの政治・経済の凋落傾向は変わらないだろう。アメリカは世界最大の借金国、消費国であり、いつかは崩れることはわかっていた。サブプライムローン（米国の信用力の低い個人向け住宅融資）問題はそのきっかけだ。借換えの繰返して消費を作りだした、「金融マジック」による好況である。金融工学を使った複雑なマジックであり実態が見えない。IT革命

たかの 高野 はじめ 孟先生 (フリージャーナリスト)

プロフィール



1944年東京生まれ。早稲田大学文学部西洋哲学科卒業。通信社、広告会社勤務後1975年フリージャーナリストに。情報誌「インサイダー」創刊に参加。1980年(株)インサイダー設立。1994年(株)ウェブキャスターを設立、インターネットによるオンライン週刊誌「東京万華鏡」の編集・執筆に従事。2002年早稲田大学客員教授に就任、「大隈塾」担当。

出演番組/テレビ朝日「サンデー・プロジェクト」、大阪読売TV「情報ライブ・ミヤネ屋」
著 書/「滅びゆくアメリカ帝国」、「ニュースがすぐにわかる世界地図2006年版」、「最新世界地図の読み方」、「地球市民革命」他多数

と金融グローバル化の取引（アルゴリズム取引）が世界の株式市場で広がっている。アメリカ式の金融資本主義の限界が見えてきた。サブプライムローン問題では、アメリカが自分で始末することができないので、中東産油国やシンガポールなどの支援・助けを受けている。

ドルの地位低下に伴い、ユーロは第二の基軸通貨としての地位を高め、外貨準備高のユーロシフトが進んでいる。シンガポール、中国はもちろん、中近東も少しずつだがシフトしつつある。ユーロシフトは、公然と、或いは、密かに進んでいるが、日本では、ユーロシフトが進んでいない、進める考えもない。それは日本が最大のドル債券保有国であるからだだろう。ユーロのような通貨をつくる構想が進んでいるアフリカでは、南アフリカ共和国を中心に2018年を目途に、中東産油国では湾岸協力会議で10年以内に地域共通通貨の発行を目指している。

21世紀は「ユーラシア大陸の勃興」である。ユーラシア大陸は、西のユーロ圏、南のインド、北のロシア、東の中国にまたがる。ユーロ圏景気の好調、資源高を背景としたロシアの復活・成長、インドの高経済成長、そして中国は今年の北京五輪、2010年の上海万博を控え建設ラッシュで成長著しい。ユーラシアの多国間協力の構想がある。日本は東アジアの指導国として、アジア経済圏の発展のため積極的提案と地域協力をを行うとともに、ユーラシアの



大繁栄へと結びつけることが必要であると思う。現在は、20世紀のアメリカと21世紀のユーラシアの谷間にある。

3. これからの政治と経済のために

政治指導部の判断により、経済に好ましくない結果を招いた例を二つ挙げる。一つは、北京からハルピンまでの「中国新幹線建設」である。中国政府は、新幹線建設は日本の技術でと決めていたが、当時の小泉首相の靖国参拝で頓挫した。これにより、中国新幹線をロシアまで延長する「ユーラシア大陸横断新幹線」の構想が消えた。もう一つは、「北朝鮮の鉱物資源の開発」である。北朝鮮は金、銀、ウランのほかに、モリブデンなどハイテク、ナノテクに不可欠な希少金属がある。北朝鮮の資源を開発し、資源輸出国にしようとしたのがピョンヤン宣言の狙いであった。拉致問題は大切であるが、世界の政治・経済動向を見究める感度が政治指導部

には必要である。

予想される今後の総選挙では、21世紀の日本の進むべき道について、政策、理念などの大論争を自民党、民主党に期待したい。2008年は政権交代をかけた選挙の年、政治のありようが問われている。有権者であるわれわれは高い見識と強い意志を持って政治に向き合うべき年だ。政治がもう少ししっかりすれば、経済もよくなる。日本人には富を生み出す力がある。日本のGDP（国内総生産）は世界のGDPの中でトップクラスだ。

今年7月の主要国首脳会議（洞爺湖サミット）では日本がリーダーシップをとってほしい。地球温暖化の排出ガスの抑制は「排出物は水だけ」という燃料電池自動車の研究開発で可能である。政治にちょっと智慧を。政治がちょっとよくなれば、日本の将来は明るい、悠々たるものになるだろう。

（編集委員 須藤 弘）

チャリティー寄託

過日開催いたしました全税共VIP君・ランちゃんゴルフコンペを含む2回のゴルフコンペと一泊旅行の際にご協力いただきましたチャリティー、また、その他組合員の善意を合わせまして、計198,148円を、去る12月6日に吉澤副理事長と辰巳専務理事が京都新聞社を訪れ、(助)京都新聞社会福祉事業団に寄託しました。

紙面をお借りして、善意をお寄せいただいた多数の皆様へ厚くお礼申し上げます。

なお、当組合からのチャリティー寄託は26回目、総額16,887,992円となりました。

京都新聞

年末の寄付金
6日

19万円を寄託 京都税理士協同組合（廣瀬伸彦理事長、中京区麩屋町通御池）が19万8148円を寄託した。組合員が参加して開いたチャリティーゴルフコンペや旅行の際に集めた善意などを合わせ、吉澤俊二副理事長、辰巳修偉専務理事が代表して持参した。寄託は26回目、総額1688万7992円となった。

シリーズ

京税協委員長からの お知らせ 第2回



保険第一委員長 谷 明 憲

保険第一委員会委員長を務めさせていただいています谷明憲です。

皆様には常日頃から、京都税理士協同組合(以下、京税協という)の運営にご協力いただき、心より御礼申し上げます。

保険第一委員会は、大同生命を担当する委員会で、京税協の収益の柱となっている大同生命よりの事務手数料の増収を図るために設置された委員会です。

〈事務手数料の仕組み〉

そもそも、なぜ、京税協に手数料が入ってくるのかについて説明させていただきます。

生命保険会社の集金の仕組みの中で、20名以上の団体が保険料を集め、これをまとめて保険会社に支払うと、保険料の3%または1%が事務手数料としてもらえるようになっているそうです。

私達の京税協の先輩方が、この仕組みに着目して、京税協の組合員及び賛助会員を正会員とし、正会員の家族、従業員ならびにその家族そして、組合員の関与する法人、事業主、役員、従業員を準会員として、京都税理士協同組合

厚生会(以下、厚生会という)を設立し、会員等が加入された大同生命の保険料を集金することによって、保険料の3%または1%が事務手数料として、厚生会に入る仕組みになっています。

本当に素晴らしい仕組みをいち早く作っていただき、それが今日の京税協発展の礎になっており、その結果、京都の中心に立派な会館を建てる事が出来たのだと思います。

〈事務手数料の額〉

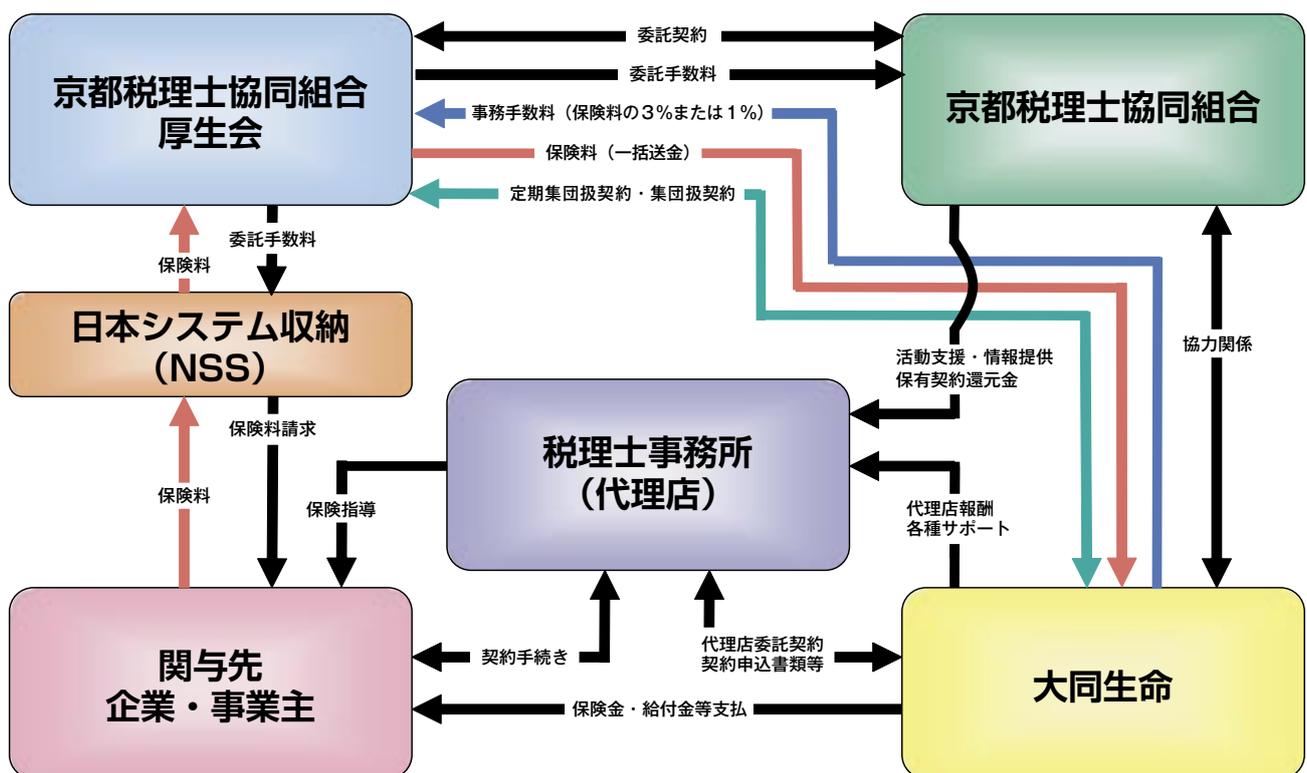
さて、どれくらいの手数料が入ってくるのでしょうか。第35期(平成19年5月期)には、厚生会に1億3,600万円余りの手数料収入があり、今期も1億4,000万円の手数料を目標に努力しています。

税理士事務所で、1億4,000万円の売上をしようと思えば、パートさんを含めて20名程度のスタッフが必要となり、確定申告期には夜遅くまで残業しなくてはならないでしょう。

ところが、京税協の場合には、担当者一人で充分対応することができます。

いつ思っても、本当に素晴らしい仕組みで、大同生命との

京都税理士協同組合厚生会保険事業の仕組み



提携を決断された先輩方には、感謝の気持ちで一杯です。
 〈京税協に入ってくる仕組み〉

次に、京税協と厚生会の関係ですが、前頁のフローチャートを見ていただくとわかると思うのですが、厚生会は、大同生命からもらった手数料の内5%を日本システム収納に支払い、集金代行の仕事をしてもらっています。残り95%のうち90%を京税協に厚生会会員の事業の向上発展に必要な調査研究、会員の福利厚生事業の推進及び事務の委託と厚生会の保険事業推進を委託するため委託料を支払っています。京税協は厚生会に変わって、それらの事業を行っています。

〈委員会の目的〉

私達の委員会は、京税協が受託した事業がスムーズに進むよう、また、大同生命よりの事務手数料が増加するよう京税協の会員の皆様の協力を得ながら、いろいろな施策を行う委員会です。

今年度は、以下の施策を行います。

- ①代理店表彰として、1年間の推進実績に応じて商品券を贈呈します。
- ②営業社員表彰として、優秀な営業社員を表彰します。
- ③代理店協議会を京都府下の事務所を対象に、京都市内で開催します。また、両丹協議会で両丹支所組合員を対象に大同生命のPRをします。
- ④代理店ゴルフコンペを開催します。
- ⑤代理店事務所研修会を開催するときには、支援策として、参加者一人当たり3千円を限度として補助を行います。

最後に昭和49年に大同生命と業務提携を行って以降『京税協総合事業保障プラン』保有契約高3000億円達成の歩みを簡単にご紹介します。

『京税協総合事業保障プラン』
 保有契約高3000億円達成の歩み

昭和49年	京都税理士協同組合（厚生会）と大同生命との業務提携
昭和62年	保有契約高1000億円達成
平成3年	保有契約高2000億円達成
平成4年	業務提携20周年記念キャンペーン『奄美・鹿児島の旅』実施
平成6年	保有契約還元金制度（キックバック）を導入
平成15年	新税理士会館竣工記念キャンペーン『北海道の旅』実施
平成18年	大同生命京都税理士共済支社を新設
平成18年	保有契約高3000億円達成
平成19年	保有契約高3000億円記念キャンペーン『ニュージーランドの旅』実施

- ⑥代理店に事務手数料の一部を、保有契約還元金としてお支払いします。
- ⑦新規登録代理店に対し、代理店育成費用として1万円を贈呈します。
- ⑧代理店登録5年以内の組合員を対象に今年度の新支援策としてスタートアップセミナーを実施します。
- ⑨支所長、支所保険委員が中心となり、新規登録代理店対策等をテーマとして、推進会議を開催します。
- ⑩理事長及び保険担当役員名による「登録勧奨リードサービズ」を発行します。

以上の施策を通して事務手数料の増収を図る訳ですが、説明しましたように、京税協（厚生会）、組合員そして、お客様（契約者）の全てにメリットのある仕組みです。

今後の京税協の発展のためにも、是非、皆様方のお力をお貸しいただきたいと思ひます。
 何卒よろしくお願ひいたします。

法人・個人事業主のお客さまに

 **京銀 ビジネスカードローンR**

ご融資極度額 ▶ 500万円・300万円

ご融資期間 ▶ 最長2年以内（所定の手続により更新可）

- ◆担保・保証人は不要！
（法人のお客さまの場合のみ代表者を保証人とさせていただきます）
- ◆インターネットE Bの活用で、お借入れ・ご返済の手续が可能！もちろん、専用カードでATMのご利用も可能！
- ◆急な資金需要があっても安心！
※お申込みに際して所定の審査をさせていただきます。場合によってはお申出に添えない場合がございます。

詳しくは下記のフリーダイヤルまでお気軽におたずねください。

飾らない銀行

 **京都銀行**

http://www.kyotobank.co.jp/

京銀ビジネスデスク

☎0120-075-803

受付時間：9:00～17:00（月～金）
※ただし銀行の休業日は除きます。



みなさまのすぐとなりに
 京都中央信用金庫がいます。

京 中央信用金庫

本店／京都市下京区四条通烏丸西入ル
 ☎ 075 (223) 2525
 ☎ 0120-201-580（フリーダイヤル）
www.chushin.co.jp

私の残したい風景



投網漁のできる川

上京支所 東 智之



夏の風物詩といえば、何を連想されますか？ 私の場合、「鮎」の一語にきます。鮎とくれば友釣りですが、投網(とあみ)による捕り方もあります。

私が投網を始めたのは、今から30年近く前になります。デビューは賀茂川でした。漁協が放流して育ったもので、解禁日を待ちわびた記憶があります。

賀茂川に鮎がいるの？と不思議に思われるでしょうが、それだけ水質が良くなってきたのです。当時は、20センチを超える中型が何十匹も捕れました。



ところが、20年程前から河川改修工事や水質変化の影響からか明らかに奇形と思われる鮎が捕れだしました。最近取り沙汰されております環境ホルモンによる影響もあるかも知れません。由々しき問題と実感します。

出身小学校校歌の一節に「賀茂にせせらぐ若鮎は」とありましたが、賀茂川の清流が再度復活し、良型の鮎が成育することを願ってやみません。

以後、賀茂川での投網漁は休止して、和歌山県下の熊野川支流、古座川上流などへ30センチ超の尺鮎を求めて、夏休みを過ごしております。

写真は丹後半島の宇川でのものです。このあたりが天然遡上の北限とされております。投網だけでは取り逃がして

しまうので、巻き網(カスミ)も張ってその中を素潜りでヤスを使って捕るダイバーとの共同作業で、ものの1時間程で、ご覧の通りの成果でした。

環境は一度破壊してしまうと、復元するのは容易ではありません。どの河川も清流であってほしいと思うのは、投網をする私だけではなく、全ての方々の思いでもあります。このまま放っておくと大変なコトになりますよ!! 川の流れる全ての所が山紫水明の地でありますように、網を打つ度に願っております。



曼殊院界限

中京支所 木村 恭子



白川通りのバス停一乗寺清水町あたりから東に向って(山側)なだらかな坂道を20分くらい歩きます。前方に比叡山を見上げ、道沿いの田園風景を楽しみながら進みますと曼殊院門跡に着きます。

この曼殊院は枯山水の庭園や紅葉の美しさで有名ですが、春の桜もまた見事です。澄み切った青空のもとに誇らしげに咲く桜は当然のこと、花曇りの午後のさくらはしっとりと落ち着いて、平仮名の「さくら」が似合います。曼殊院の手前には武田薬品工業の研究所があり、見事なバラを鑑賞できる季節があります。

曼殊院から北に歩けば修学院離宮、

南に少し行けば詩仙堂や圓光寺等、四季折々に洛北の良さを堪能できる場所です。大型の観光バスなどは道幅の狭い箇所が多々あるため白川通りから東へは進入出来ないため観光シーズンでも比較的混雑していないように思います。

しかし真冬の今は「冬枯れ」の感じですか。一輪のツバキでも見つけようと歩いている時、お寺の入口で赤い実をつけた南天に出会えました。中庭には南天と、山茶花もそとこちらを向いて花をつけておりました。

ぶらぶらと歩いている途中に、西の方

に目をやりますと木々の間から下の方に町並みが見えます。バブルの頃に、住宅が随分建築されましたが高層ではないため、少し高台に立ちますと田畑や見晴らしの良い場所も残っています。やはりその場所に適した建物の高さ制限は必要なのでしょう。

以前住んでいた頃と余り変化していないこのあたりの風景はこのまま残して欲しいものです。



割烹かつら



舞鶴支所 **松下 弘**

軍港の町東舞鶴大門（国道27号線）二条を北に入ると「割烹かつら」がある。表の通りを少し歩けば天然の良港である舞鶴湾が、港町らしい雰囲気を感じ出す。

冬場、割烹かつらでは是非とも味わいたいのが、カニ。魚屋から新鮮なものを毎朝仕入れてくる。とりわけ経ヶ岬沖で採れたという松葉ガニは見事な見目と新鮮な磯の香りで食欲をそそり、

主人のこやかな顔が調理の厳しさを感じさせず家族的で美味しさも増す。

調理は素材の持ち味を最大限に活かして、シンプルに抑えられ酢の物、生刺身、焼きガニは鮮度に裏打ちされた風味が十分に楽しめる。最後は鍋で温まり、雑炊でしめる。カニコースでは旨味が凝縮されたコッペガニなども合わせて、舞鶴のカニを腹いっぱい食べてみていただきたい。

自慢の一品料理を味わうなら、この時期はエビイモの揚げ出しがお薦め。しっかりと出汁で炊かれたエビイモとその衣にしみた出汁が絶妙である。新鮮な海の幸ともども、誠実な割烹料理の醍醐味を楽しんでいただきたい。



割烹かつら
舞鶴市二条大門北
TEL 0773-62-5523
営業時間 12:00~22:00
不定休



とっておきのお店

——組合員先生方のお薦めのお店——

鳥料理専門居酒屋 とりなご



福知山支所 **細見 均**

丹波福知山に「福知山音頭」にも唄われている名将明智光秀公が祀られている御霊神社があります。この神社の裏参道前にあるのが今回ご紹介する鳥料理専門居酒屋「とりなご」です。

32年前より鳥料理専門として開店したこのお店は、花の都東京でカメラマンとして活躍していたチョット変わり者？ チョイ悪おやじ足立直美君がオーナーの名物店です。彼は同級生で30年来のゴルフ仲間、彼の人柄から多くのリピーターで賑わっています。

お店のテーブル・看板などすべて彼の手造り、店に入る前から心躍ります。そんな彼が考えた拘りの一品が合鴨肉と白ネギの「鴨すき」。ま、いっぺん

食べてみてください。出汁と鴨団子、鴨肉、抜群の煮汁が出た所にテンコ盛りの白髪ネギを5秒放り込みサッと食べるこの相性の良さ。思わず「旨い!!」と唸ってしまう事受け合いです。また店主が種蒔きから手打ち迄一人で作る拘りの「絶品ざるそば」など鳥料理が駄目という方にも他のメニューが色々あります。

これらの味が忘れられず毎秋開催の「福知山マラソン」に参加し、その足でとりなごへゴールインのランナーも…

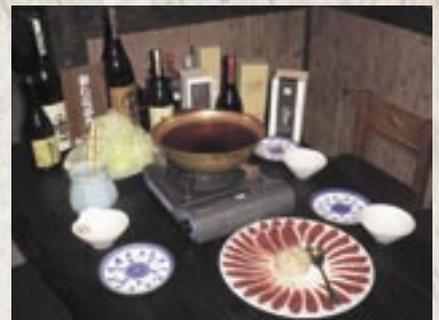
1階は年配者にも好評の足の出せる



少人数向き、2階民芸調のお座敷はグループの会合に最適です。

この拘りの店「一度食べると癖になる」こと間違いなし。丹波福知

山に来られた折、是非一度味わっててください（営業時間要チェック）。



鳥料理専門居酒屋 とりなご
福知山市御霊神社裏参道前
TEL 0773-22-1804 FAX 0773-23-3067
営業時間 PM5:00~PM11:00 年中無休
(日・祝のみ ~PM10:00)



第40回
2007.11.12
VIP君・ランちゃん
ゴルフコンペ

第40回VIP君・ランちゃんゴルフコンペに優勝させていただきました。今春の第39回に続き連続優勝という名誉も頂きました。仲間からは「隠しホールを知っていたのでは?」、「運がいいだけや!」と非難を浴びながらの優勝の味は又格別の気分です。

ダブルペリアとはいえこれだけの人数が参加してのゴルフコンペに2度続けて優勝出来たことは運だけじゃない、自分には実力もあるんだと発想を転換すると、ゴルフに自信が出来てきたように感じます。自信が過信にならぬよう自分を戒め

ながら、この教訓を今後のゴルフのみならず仕事に、健康に、私生活に生かすべく努力していく決意をした次第です。

まもなく平成生まれの成人が誕生します。昭和生まれの人間関係が当たり前の中からは平成生まれの感覚が年々成長していくことは楽しみでもあり、寂しくもあるような気がします。こんなことを申し上げる私もやっぱり古い人間でございましょうかね! ゴルフコンペがある限り参加し、前人未踏の3連覇へ今日から心がけて行きたいと思います。

本日同組では京税協の激務から解放さ

自信が出来ました!

中京支所
林 正



れ気の緩みからかミスが多かった小坂先生、同じ左打ちでライバル意識をした土井先生、そして第一生命の加藤様ご協力ありがとうございました。

最後にお世話を頂きました関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

第40回VIP君・ランちゃんゴルフコンペに待望のベストグロス賞を頂き、それに加えて、優勝をさせて頂きました。残念ながら団体戦は左京チームの優勝は成りませんでした。今回は優勝を目指して左京地区のゴルフ仲間と頑張ります。

ベストグロス賞ですが常連の一人、東山地区の西野先生が急に欠席されたと言うラッキーがありまして、頂けたと思っています。

今回は、強敵全員揃ったコンペでベストグロス賞を狙い、現在満74歳になりましたが、なんとか少しでも長く体力を保つ努力をして、エージ・シユーターを達成出来たらなああと夢を追いながらゴルフを続けたいと思っています。私にとって京都税理士協同組合の春と秋のゴルフコンペは大きな励みとなっています。ですからコンペを開催するに当たり、色々とお世話を頂きました皆様に心から感謝し

左京支所
村中 平治



ております。

終りにあたり、当日同伴をして頂きました、吉澤副理事長、井戸先生、東京海上日動火災の宮澤氏に御礼を申し上げます。

第40回VIP君・ランちゃんゴルフコンペが11月12日に琵琶湖カントリー倶楽部で開催され、コース優勝させて頂きました。久しぶりの勝利で大変喜んでます。また団体戦の方も東山・園部・福知山・舞鶴合同チームで優勝という、いわゆる完全優勝となり、二重の喜びでした。

名門琵琶湖カントリーは、やはり手ごわいコースでした。特にグリーンに悩まされ、グロス88という自分では納得のいかなないスコアでしたが、ハンディに恵まれた優勝でした。次回の挑戦では、琵琶湖カントリーを攻略できるよう練習を重

ねアタックしたいと思います。

当日は、園部支所の吉田史樹先生・齊藤稔先生、舞鶴支所の本間憲先生と同組でした。気心の知れた先生方ばかりだったので、なごやかに楽しくプレーできたことが、優勝の大きな要因となりました。心より感謝申し上げます。又亀岡へ帰って団体優勝の祝杯をあげ、夜遅くまで楽しく過ごさせて頂き、私にとって充実した一日でした。感謝・感謝・感謝。

今後の目標を、個人優勝・団体優勝・ベストグロスを同時に達成するという三冠王をめざし、楽しみながら、練習した

園部支所
関本 孝一



いと思っております。

今回、ゴルフコンペの世話役の一員として参加させて頂きながら、たいしたお役に立てずに申し訳ございませんでした。

最後に、志田委員長を初め、ゴルフコンペの世話人の先生方に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

●各組の入賞者

	【三上組】	【琵琶湖組】	【栗東組】
優勝	林 正	村中 平治	関本 孝一
2位	中田 均	田中 健三	齊藤 稔
3位	岡本 正	藤原 義明	志田 哲夫
B G	高橋 広和	村中 平治	中居 章

●団体戦

優勝	東山・園部・福知山・舞鶴支所合同
2位	中京支所
3位	宇治支所



京の文学散歩 「夜は短し歩けよ乙女」

著者 森見登美彦

編集委員 森田 尚子



である。モリミーは京大出身、その作品は京都を舞台とし、自身の学生時代を映し出すかのようである。

この作品は、大学1年生の黒髪の乙女の「私」と大学4年生のちょっと古風で硬派な「私」が四季折々の京都を舞台に織り成す恋愛小説である。二人は同じクラブの先輩後輩であり、先輩の「私」が「黒髪の乙女」に一目惚れをする。彼女は、親指を4本の指で包み隠す「おともだちパンチ」を武器とし、巨大な緋鯉のぬいぐるみを背負ったり、うれしいことがあると二本足歩行ロボットの真似をする。遭遇するものすべてに感謝を表わし、そしてみんなが風邪をひく中で自分だけ風邪をひかないと寂しい気持ちになる。その天然ぶりがなんともキュートで微笑ましく感じられる。この二人が、同じ空間同じ時間に別々に巻き込まれた様々な出来事について、交互に「私」という一人称で語るという構成で話は進む。先輩である「私」は、偶然を装い「なるべく彼女の目にとまる作戦」略して「ナカメ作戦」を企てる。夜の木屋町、先斗町、古本市、学園祭など偶然の出会い

は頻発。その度に「私」が言う台詞「ま、たまたま通りかかったもんだから」。これに対して「黒髪の乙女」が天真爛漫な笑みで応える台詞「あ！先輩、奇遇ですね！」。交わりそうで交わらず、交わらなさそうで交わるという二人である。

言ってしまうと大学生の恋物語なのであるが、しかし、なかなかどうしてその味わいを語るのは難しい。現実と非現実の交錯する中で強烈な個性の脇役が配されており、摩訶不思議な人間模様が描かれている。自由にまかせて、ストーリーの傍流でふと立ち止まったり、何気ない一言が可笑しかったり。ハードカバーで3百頁、飽きさせることがない。

著者独特の文体がまた軽妙洒脱でテンポよく、読みやすい。純情硬派学生物語のようでもあり、ファンタジーの物語のようでもある。また電気ブランや三鞭酒などレトロな言葉や見慣れない漢字が数多く用いられており、現代

のようで現代ではないような感覚がこの作品に引き込まれていく魅力のひとつになっているのではないだろうか。いまどきの学生なのに携帯電話もメールも出てこない。最後にメールが一度登場し、そして最後の最後に一度だけ決定的アイテムとして電話が使用される。おそらくこれらの「ハイテク」機器を使用すれば、こんなすれ違いの物語にならないだろう。

本書は四章からなる。第一章「夜は短し歩けよ乙女」は、晩春の四条木屋町を高瀬川沿いに下り、喫茶「みゅーず」を経て、先斗町界隈を舞台に展開する。クラブOBの結婚祝いの後、酒豪の乙女はまだ飲み足らず一人で四条木屋町界隈へ飲みに行く。それを後ろから先輩がつけていくという展開である。話に彩りを加えるのは、「東堂錦鯉センター」の経営者である東堂、他人の宴会に潜り込んでお酒を飲んでいる美人歯科衛生士の羽貫女史、いつも浴衣を着ている正体不明の樋口、屋上に竹藪が繁る三階建電車で登場する謎めいたお金持ちの老人李白、そして詭弁論部というおかしな集団などなど。これらの不思議な面々はその後の二人の人生にまわりつき、やがてばらばらに見えるこれらの登場人物が相互に関わりを持っていることが判明する。ハイライトは李白と乙女の「偽電気ブラン」の飲み比べである。先輩からすれば思うように近づけず散々な夜であったが、乙女には人生を学ぶ忘れられない夜となった。

第二章の舞台は夏の糺の森の古本市である。先輩は古本市が苦手だが、乙女が行くという情報を入手し、ナカメ作戦を執行する。しかし、二人はわずかな時間のズレで、あるいは壁一枚隔てているために、交わりそうで交わらない。ここでも「千歳屋」の若旦那や織田作之助全集を読みふける和服の女性など得体の知れない人々が絡んでくるのだが、話の中心は古本市の神様の化身と思わせる10才の少年である。この章での読みどころは、先輩がこの少年に行く手を邪魔されながらも彼女が探している絵本を手に入れるために李白主催の火鍋を囲んだ決死の我慢大会

タイトルと表紙に魅せられたという単純な理由で読み始めたのであるが、次々起こる奇想天外な出来事に瞬く間に引き込まれていった。

著者である森見登美彦は、ファンからモリミーなんて呼ばれる注目の作家

の場面、そして少年が一見無関係に見える作家たちの繋がり—コナン・ドイルと織田作之助がデュマや横溝正史と繋がっていること—を雄弁に語っているところではないだろうか。

第三章「御都合主義者かく語りき」の舞台は晩秋の京都大学学園祭である。ここでも強烈な脇役が登場する。女装自慢の学園祭事務局長、象のオブジェを展示している須田紀子などなど。そして神出鬼没のゲリラ演劇「偏屈王」のパフォーマンスを中心に物語は展開する。学園祭に来ただけの二人であったが、巻き起こる様々な出来事に巻き込まれ、あげくに先輩が命がけのパフォーマンスを演じて壮大なクライマックスを迎える。

最終章「魔風邪恋風邪」では、東鞍馬口通り、北白川東小倉町、御所の森、銀閣寺交番前から哲学の道、琵琶湖疏水沿い、下鴨泉川町、神楽岡通りから吉田山、出町柳から六地藏、伏見桃山とめまぐるしく師走の京都を駆け巡る。つまり今までの登場人物の住んでいるところが舞台となっている。登場人物がたちの悪い風邪で倒れる中、「風邪の神様に嫌われている」乙女は皆のお見舞に出かける。その中で、この強烈な風邪の根源は風邪の神様にとりつかれた李白であった。乙女は「潤肺露」という伝説の風邪薬を武器に、李白風邪と戦うことになる。その頃、先輩は高熱で床に臥していた。しかし不思議なことに異なる空間にいる二人が同じ空間を共有する。風邪の熱と恋の熱を通じて二人の人生はここで繋がった。そして喫茶「進々堂」を舞台に、二人はハッピーエンドを迎えることになる。

今の自分と自分に関わる人々の関係は偶然の積み重ねなのか必然なのか。本書では空間的に隔てられて平行に進んでいるかのような一つひとつの点が、やがて時間という時の経過を経て交差し、繋がっていたことが発見される。それが偶然なのか必然なのか分からないけれど確かに「今」に存在している。悠久の時を抱えて当たり前のように今と昔が渾然一体となって存在する京都は、先輩と乙女のように恋愛の舞台としてふさわしいように思えた。

1年貯蓄



●確定利回り ● 1年満期
●税率18% ● 1万円単位
●元金安全

5年貯蓄



●5年満期 ● 確定高利回り
●元金安全 ● 1万円単位
●半年複利



商工中金

京都支店

☎ 075 (221) 3181



〒604-0953 京都市中京区富小路通御池上ル守山町156-3

京都税理士協同組合厚生会会員のみなさまへ

総合事業保障プラン総合型・L

大同生命の無配当歳満期定期保険 AIUの普通傷害保険

90歳までの長期保障、保険料は一定。

退職金、功労金などの財源としてご利用いただけます。

*このプランには、契約者が京都税理士協同組合所属税理士の関与先であるなど、所定の加入資格を満たした方のみご加入いただけます。ご加入後に加入資格を喪失された場合、保険料の引き上げや保障内容の変更(損害保険部分の解約)等のお取扱となる場合があります。加入資格の詳細につきましては、担当者に確認ください。

◎ご検討・ご契約にあたっては、設計書(契約概要)・重要事項のお知らせ(注意喚起情報)・ご契約のしおり 約款を必ずごらんください。

〈引受保険会社〉



大同生命

京都税理士共済支社/
京都市中京区烏丸通り三条下ル
饅頭屋町595-3
TEL 075-256-7102



AIU保険会社
エッセイ・イン・アソシエーション

京都支店/
京都市中京区烏丸通三条下ル
饅頭屋町595
(大同生命京都ビル7F)
TEL 075-223-1651

F-19-1020(平成19年10月22日)A-59-971

地域とともに コミュニティ・バンク

地域とともに・・・

これが「コミュニティ・バンク」の原点です。

地域の皆様にとって一番近い存在であるように、
これからも京都税理士協同組合の
皆様とともに歩んでまいります。



京都信用金庫

京都市下京区四条通柳馬場東入
TEL(075)211-2111
<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>

組合の動き

平成19年

11・20	AIGスター生命との親睦ゴルフコンペ開催 於 名神八日市カントリー倶楽部
11・21	支部長・副支部長との懇談会開催
11・21	総務委員会開催（DMの発送について）
11・26	事業委員会開催 （10/2事業推進協議会の実施報告について）
11・27	学院・短期講座開講 「年末調整の仕方について」 講師 岩崎紀子先生 参加 151名
11・29	中国税理士協同組合との懇談会開催
11・30	相談役会開催 於 カーサビアンカ
12・2～3	一泊旅行の下見実施
12・4	学院・短期講座開講 「建設業の経審対策のポイント」 講師 門田猛先生 参加 68名 於 福知山サンプラザ万助
12・4	税務便覧委員会開催 （平成19年分税務便覧の販売状況について）
12・6	学院・短期講座開講 「年末調整の仕方について」 講師 岩崎紀子先生 参加 59名
12・6	京都新聞社会福祉事業団にゴルフコンペ等の チャリティーを寄託
12・12	学院・短期講座開講 「平成19年度税制改正のポイント総まとめ ～減価償却とリース取引を中心に～」 講師 峯村照秋先生 参加 99名

12・14	常務理事会開催
12・14	理事会開催
12・14	役員・委員合同忘年会開催 於 ウェスティン都ホテル京都
12・20	第22回全税共全国統一キャンペーン 祝賀パーティー事前打合せ
12・28	仕事納め

平成20年

1・4	仕事始め
1・8	近畿税理士会新年賀詞交歓会出席 於 帝国ホテル大阪
1・9	編集委員会開催（第120号編集割付）
1・10	市内7税務署への新年挨拶
1・10	正副理事長会開催
1・10	常務理事会開催
1・11	近畿税理士会京都府支部連合会新春講演会・新年 祝賀会出席 於 京都ホテルオークラ
1・15	総務委員会開催 （組員名簿の作成について）
1・16	編集委員会開催（第120号ゲラ校正）
1・18	編集委員会開催（第120号ゲラ再校正）
1・21	第22回全税共全国統一キャンペーン優績営業職員 表彰式・祝賀パーティー 於 リーガロイヤルホテル京都

理事会報告

第6回理事会

平成19年度第6回理事会を12月14日午後4時30分より開催致しました。

当日の出席状況は次のとおりでした。

理事45名 監事4名 相談役3名

【決議事項】

第1号議案 組合加入並びに賛助会員加入承認の件

次の個人4名、法人3社、賛助会員3名がそれぞれ加入を承認されました。なお、組員数は個人組員1,274名、その出資金額1億2,496万円、法人組員43社、その出資金額430万円となりました。また、賛助会員は126名となりました。

（申込順・敬称略）

（個人組員）

○平松 展三 ○輪島 修 ○梅川 大輔 ○文平 学

（法人組員）

○税理士法人未来 ○税理士法人京都ビジコン

○ai税理士法人

（賛助会員）

○大橋 圭子 ○森 幸治 ○山田 浩

第2号議案 教育情報事業費並びに支所運営諸費の件

今年も今月中に各支所へ振込みの予定である旨報告があり、了承されました。

第3号議案 近畿税理士会京都府支部連合会からのお願いの件

篠田展俊支部連会長から「新春講演会・新年祝賀会」の協賛金の依頼があり、要望通り70万円を支出することが承認されました。

【審議並びに報告事項】

各部門報告

1. 総務部門

①教育情報資料（無償配付選定図書）配付の件

今年も選定した5冊をDMで案内しました。回答のない先生については、「実務家のための相続税ハンドブック」を配付する予定である旨説明があり、了承されました。

②財務報告の件

田中英文総務委員長より財務報告があり、了承されました。

③組合行事日程について…京都税理士会館の休館は、12月29日から1月3日である旨報告があり、今後の予定として3月24日に理事会を開催する旨報告がありました。

④定期DMの発送先について……11月21日総務委員会にて検討

した結果、現在の未加入者については発送しないと決定した旨報告がありました。

- ⑤秋の叙勲褒章者への祝意表明(表慶)……森金次郎先生が「旭日中綬章」を受章され、11月29日に廣瀬理事長、堀田・辰巳両専務理事が表敬訪問し、お祝い金を贈呈した旨報告がありました。
- ⑥全税共文化財団が行う「助成募集要領」について……今年も文化財団より助成募集があり、該当しそうな個人または団体がありましたらご一報頂きたい旨報告がありました。
- ⑦追加を必要とする「定款変更」並びに諸規定の見直しについて……11月15日に法規・諸規則委員会を開催し、現在見直し作業に入っており次回の理事会には、報告したい旨報告がありました。
- ⑧京税協ニュース担当者と印刷業者との打合わせ会議について……1月25日発行の第120号から印刷業者を为国印刷株式会社(中京区西ノ京馬代町6-16)とし、ニュース紙面等について打合わせ会議を開催した旨報告がありました。
- ⑨11月12日全税共ゴルフコンペの開催について……116名の参加があった旨報告がありました。
- ⑩12月6日「歳末ふれあい募金」へチャリティー寄託について……吉澤副理事長・辰巳専務理事が代表して京都新聞社会福祉事業団へ持参した旨報告がありました。
- ⑪12月2～3日「一泊旅行(道後温泉)」下見報告について……広島から松山まで瀬戸内海を横断し、観光は3コースから選んで頂けるプランを用意しており、今月のDMで行程表等の案内をさせて頂く旨報告がありました。
- ⑫平成20年4月8日大同ゴルフコンペ開催について……瀬田ゴルフコースにて開催予定の旨報告がありました。

2. 保険部門

- ①第22回全税共キャンペーン及び年間賞の表彰祝賀パーティーについて……平成20年1月21日にリーガロイヤルホテル京都において開催予定の旨報告がありました。

- ②11月19日「日本生命税理士VIP登録代理店推進協議会」開催について……今回初めて協議会を行い、今後も毎年開催していく旨報告がありました。
- ③その他……第一委員会から報告があり、大同生命より1月7日から新しい保険「無配当通減定期保険」の発売が始まる旨報告がありました。

3. 事業部門

- ①11月26日事業委員会開催報告について……提携企業との懇談会の際にいくつかの要望があり、現在提携企業と内容の見直し等を進めている段階である旨報告がありました。
- ②平成20年版「組員ハンドブック」作成とその利用について……昨年とデザインも変わり、京都税理士協同組合の組織の構成がリニューアルされ、(株)ブーメラナイト様と(株)税ビジネスサービス様の「トナーカートリッジ」が新しく掲載されています。今回巻末に差込みの関与先様用提携企業抜粋は、余分に5部入れており、職員の方や関与先様へお配り頂きたい旨要望がありました。
- ③11月29日中国税理士協同組合との懇談会について……提携企業の内容等について情報交換をしたところ、税理士のクレジットカードの提携内容に違いがあり、今後カード会社と交渉していきたい旨報告がありました。
- ④平成19年分「税務便覧」販売状況等について……大同生命様から2000部の申込みを頂き、トータルで約2000部の増加となった旨報告がありました。
- ⑤税経学院の開催講座について……11月13日の講座が定員オーバーの為、別室にてwebカメラで中継したところ、好評を頂きました。12月14日現在、今後の開催予定の申込人数は1月22日「贈与税と譲渡所得税の計算と実務」48名、1月23日「事業承継とM&A税理士の役割」32名、2月5日「所得税の計算と申告の実務」72名となっている旨報告がありました。

事務局からのお知らせ

※閲覧用住宅地図(最新版)入荷

京都市、宇治市、亀岡市の住宅地図は、従来から1階の図書コーナーに置いてありますが、今般、次の地区の住宅地図の最新版が入荷しました。ご利用ください。

北区・右京区(北部、南部)・伏見区(北部、南部)

※支部会報コーナーの新設

京都府内の各支部の会報を自由に閲覧できるコーナーを1階に新設しました。会館へお立ち寄りの際には是非ご覧ください。なお、ご希望の方はお持ち帰りもできます。

※京税協ニュースはホームページでもみることができます。

ホームページ <http://www.kyozei.or.jp>

ユーザー名 member

パスワード Qa3&k7Y\$

京都市からのお知らせ

■住民税について

◆給与支払報告書の提出について

平成19年中に支払った給与に係る「給与支払報告書」の提出期限は平成20年1月31日です。

受給者の平成20年1月1日現在の住所の市町村に提出してください。なお、退職者(短期雇用、アルバイトを含む。)については、退職日現在における住所所在地の市町村に提出してください。

◆住所が京都市にある方の提出先

〒604-8091

京都市中京区寺町通御池下る下本能寺前町500番地の1
中信御池ビル4階

京都市理財局税務部法人税務課特別徴収担当



今号から印刷業者も代わり紙面を一新しました。野暮ったさがなくなったと自負していますが、いかがでしょうか？ あとは「仏作って魂入れず」にならないよう、より楽しく役に立つ内容にしますので、読んでください。流した汗が報われます。



シリーズ

路線バスの終点へ

編集委員 名古屋千尋



行先を出町柳に変えて出発

「路線バスの終点」というとどんな場所を思い浮かべるだろうか。まずは辺鄙な場所に違いない。でも、ただ辺鄙なだけでは「終点」に選ばれない。きっとそこには何かが待っているはずだ。知らない所に行ってみたいという好奇心を満足させてくれる「路線バスの終点へ」は、私にとってお気に入りの企画だった。編集委員になるまでは…。

でも、自分で行くことになって、かなりめんどろな企画であることに初めて気がついた。今までの委員さん達も、忙しい中わざわざ辺鄙なところまで取材に行かれたのだと、お気楽に読んでいたときはまた別の感慨が湧いてきた。行き先は悩んだ末、京都バスの「雲ヶ畑岩屋橋」に決めた。委員長にはメジャーすぎると猛反対(?)されたが、幸い私はまだ行った事がない。また、夫の祖母が雲ヶ畑出身という話も聞いていたので、二人で出掛けることにした。

バスの出発まで少し時間があつたのだが、予想に反して出町柳のバス停にはすでにハイカーの行列ができていた。小型のバスで、座れるのは20名位だろうか。もちろん超満員で最初から立ちっぱなしだ。街中を抜けると川沿いにバスは進む。途中からは道が狭くなり、すれ違うことすら難しそうだ。実はとりあえずバスで来て、後から車で再度取材に来るつもりだったのだが、この道を見てやる気を失くしてしまった。万年初心者ドライバーの私にはとうてい無理っぽい。良くて脱輪、へたをすれば愛車もろとも川底へ、なんてことになりかねない。

バスの路線沿いには所々に集落があり、今はトタン屋根になっているもの

の、かつては風情ある藁葺きだったであろうと思われる家々が残っていた。洋風の新しい家はあまりなく、ほとんどが昔ながらの土塀瓦葺のどっしりとした家並だ。夫が子供だった頃の記憶なので定かではないそうだが、ずっと昔に来たときもバスは通っていて、今よりもっと賑やかだったそうだ。やはり若い人達は街中へ出て行ってしまったのだろうか。



バスの窓から

小一時間ほどで終点の岩屋橋に着いた。家を出るときには青空だったのに、バスを降りるとかなりしっかりと雨が降っていた。バス停に「クマに注意」の看板が掛かっているのが、ずいぶん山奥まで来た気にさせる。思ったより小さな何の変哲もない橋と石碑があるだけだった。料理旅館が二軒と、少し離れたところに小さな神社を見つけた。伊勢物語にも登場する悲劇の惟喬親王が祀られているとのことで、とりあえず写真に収めた。



岩屋山の石碑



惟喬神社

今回は時間が無くて行けなかったが、ここから20分程歩くと志明院という弘法大師に縁の寺院がある。境内には

鴨川の水源である湧き水があり、また石楠花の名所としても知られている。4月末あたりが見頃となるのでぜひ訪れたいものだ。ただし、行かれる場合は時刻表のチェックをお忘れなく。私達は午前9時25分に岩屋橋に着いて、滞在時間なんとわずか10分、午前9時35分のバスで帰ってきた。これを逃すと次は夕方の午後5時になってしまう。もしのんびりできるなら志明院を訪れた後、料理旅館でゆっくりするのもいい。季節に応じた料理が楽しめるし、人数によっては送迎バスも出してくれる。

折り返しのバスは途中で主婦らしき二人を拾った。一人は次の集落で降り、もう一人は北大路駅まで一緒だった。地域の人たちには大切な足になっているのだろう。もっと本数があるといいの。往復2時間の小さな旅だったけれどずいぶん遠くへ行ってきたような気がする。家へ帰ったらまだお昼前、いつもの休日ならまだぼーっと過ごしているところだ。ちょっと得した気分になった。



旅館の前で



冬のおすすめはばたん鍋 夏のおすすめは川床料理